

新企画「情報処理最前線」の連載開始にあたって

松下 温† 西野 哲朗††

本学会の学会誌「情報処理」は、お陰さまで現在毎月3万余部を発行するに至っております。本学会誌をもっと読みやすいものにしてほしいという会員の皆さまからのご要望にお応えするために、私たちは学会誌の改善活動が続けております。そのような活動のひとつの目玉として、今月号から「情報処理最前線」という新しい企画をスタートさせることになりました。

従来から掲載されております本格的内容の解説記事とは少し趣を変えて、本企画の記事は気軽に読んでいただけるものにしてまいります。著者の方々には、事実に基づきながらも、個人的なご意見や展望などを積極的に述べていただきます。執筆は、研究者以外の方にも幅広くお願いしていく予定です。また、著者の方々には、平易な文章表現、図の多用、囲みによる用語解説などにより、読みやすさに特に配慮していただくようお願いしております。オムニバス形式なども取り入れる予定です。

本企画は原則として、毎月号の巻頭言の次に掲載してまいります。また長期的には、各分野の内容がバランスよく取り上げられるよう配慮いたしておりますので、特にお忙しい方は、この欄だけを毎月お読みいただくだけでも、情報処理全般に関する幅広い最新知識が得られるように工夫されております。

具体的な内容としては、現在以下のようなシリーズを計画中です。

1. 「情報処理トピックシリーズ」

学会・産業界における最近のホットな話題を、学問的に正確に、しかも分かりやすく解説することをモットーとするシリーズです。

通常の解説との違いを明確にするために、記事の企画に当たっては、多くの一般会員の皆さまが興味をもつような最新的话题を取りあげます。「誌上討論」や「ユーザによる製品使用体験レポート」なども企画しております。

2. 「だれにでも分かるシリーズ」

情報処理の各分野における基本的な考え方を、一般読者のどなたにでも分かるように解説するシリーズです。たとえば「分かりやすいインターネット構築」という解説の企画を現在進めております。

このほか、いままでになかった斬新な切口から、最近のホットな話題を面白く、しかも正確に読者の皆さまにお伝えする工夫をしております。皆さまからも、こんな記事が読んでみたいというご希望がございましたら、下記の要領でふってご意見をお寄せください。

さて、第1回目の今回は、日本IBMの久世和資さんによる「オブジェクト指向プログラミングの利用価値」です。また次号以降は、第2回「マイクロプロセッサの発展と将来」、第3回「コンピュータは人間に勝てるか?!」を掲載する予定です。どうかご期待ください。

お願い

本企画をより良いものとするために、皆さまの屈託のないご意見を、ファックスまたは郵便で下記までお寄せください。

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27階 (社)情報処理学会 学会誌編集係
FAX 03 (5322) 3534

(平成4年11月25日)

† 慶應義塾大学理工学部
†† 北陸先端科学技術大学院大学